

2022年2月14日  
株式会社インプレスR&D  
<https://nextpublishing.jp/>

25年分のインターネットの歴史が無料で読める！  
「インターネット白書 ARCHIVES」に 2021年版を追加  
IAJapan/JPNIC/JPRS/インプレス・サステナブルラボの共同社会貢献活動

インプレスグループで電子出版事業を手がける株式会社インプレス R&D は、一般財団法人インターネット協会 (IAJapan)、一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター (JPNIC)、株式会社日本レジストリサービス (JPRS) とインプレス・サステナブルラボ (株式会社インプレスホールディングス内研究組織) が共同で運営している無料バックナンバーサービス「インターネット白書 ARCHIVES」(<https://IWParchives.jp/>) に、昨年版の『インターネット白書 2021 (副題: ポストコロナの DX 戦略)』の記事を追加掲載いたしました。

「インターネット白書 ARCHIVES」トップ画面  
<https://IWParchives.jp/>



<<「インターネット白書 ARCHIVES」とは>>

「インターネット白書 ARCHIVES」(インターネット白書アーカイブス)は、インターネットの黎明期(1996年)からの歴史を年鑑として発行し続けている「インターネット白書」のバックナンバーをデジタル化し、無料で検索・閲覧できるようにした Web サービスです。発行後1年を経過した「インターネット白書」をアーカイブスに登録しています。

<<今回、追加された主な記事>>

この度、新刊『インターネット白書 2022(副題:デジタルツイン実現への道)』が発行されたのを機に、昨年の 2021 年版をアーカイブスに追加登録しました。

2021 年版のテーマは「ポストコロナの DX 戦略」。前年から新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界を襲い、社会経済活動を維持するためのインターネットの役割が再認識されたのをきっかけに、DX(デジタル・トランスフォーメーション)が急務であるという認識が高まりました。

2021 年版では、Web 会議システムの急速な需要増をはじめとするテレワークの台頭、GIGA スクールの動きを前倒したオンライン教育の動き、音楽ライブ配信やオンラインゲームが活況を呈したオンラインエンターテインメント、非接触で決済ができるペイメントシステムの市場拡大など、コロナ禍における旧システムの混乱とデジタルテクノロジーを活用した新様式(ニューノーマル)への急速な移行のニーズ、それらの課題について、ビジネス、社会、技術分野における 44 人の専門家が解説しています。

この「インターネット白書 ARCHIVES」では、時系列検索エンジン TIMEMAP を採用しています。キーワード検索をすると、25 年分のインターネット白書の記事が年表形式で表示されます。追加登録した 2021 年版も含め、インターネットのタイムトラベルをお楽しみください。

### <<「インターネット白書編集委員会」について>>

「インターネット白書 ARCHIVES」の運営は、一般財団法人インターネット協会(IAJapan)、一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)、株式会社日本レジストリサービス(JPRS)、インプレス・サステナブルラボ(株式会社インプレスホールディングス内研究組織)により構成された「インターネット白書編集委員会」が行っています。

#### 一般財団法人インターネット協会(IAJapan)

インターネットの発展を推進することにより、高度情報化社会の形成を図り、わが国の経済社会の発展と国民生活の向上に資することを目的とし、「日本インターネット協会」「電子ネットワーク協議会」との統合により 2001 年 7 月設立。普及促進・技術指導活動として、各種委員会活動(IPv6 デプロイメント、迷惑メール対策、DXビジネス推進)を行っている。安心安全啓発活動として、インターネットルール&マナー検定の実施、インターネット利用アドバイザーの育成、インターネットホットライン連絡協議会の事務局、SNS 利用マニュアルの作成、東京都のネット・スマホのトラブル相談業務の運営等を行っている。また、ISOC、ICANN 等の国際組織との協働および国際連携を行っている。

<https://www.iajapan.org/>

#### 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(略称:JPNIC<ジェーピーニック>、理事長:早稲田大学名誉教授 後藤 滋樹)は、インターネットの運営に不可欠な IP アドレス等の番号資源について、日本国内における登録管理業務を行っている。あわせて年に一度の Internet Week をはじめとするインターネットに関する教育・普及啓発活動や各種調査研究活動、インターネットの国際的な広がりに対応するための国際的な調整業務を行っている。JPNIC は、任意団体としてインターネットの急速な普及を底辺から支える活動を 4 年間継続して行ったのち、1997 年、科学技術庁(現文部科学省)、文部省(現文部科学省)、通商産業省(現経済産業省)、郵政省(現総務省)の共管による社団法人となり、2013 年 4 月からは一般社団法人として活動している。

<https://www.nic.ad.jp/>

#### 株式会社日本レジストリサービス(JPRS)

「インターネットの基盤を支え、豊かな未来を築く」という理念のもと 2000 年 12 月に設立。ドメイン名の登録管理・取り次ぎとドメインネームシステム(DNS)の運用を中心とするサービスを行い、インターネットを支える各種技術の研究・開発にも取り組んでいる。また、国内外のドメイン名の最新動向や DNS の技術情報の発信を行っている。日本に割り当てられた国別トップレベルドメイン「.jp」の登録管理組織であり、JP DNS の運用を行っている。「.jp」の登録管理組織として、国際的なインターネット関連組織と連携し、インターネット基盤資源のグローバルな調整を行う ICANN の活動支援、ア

ジア太平洋地域のレジストリの連合組織である APTLD への参画、インターネット関連技術の国際的な標準化を進める IETF の会合での各種技術提案など、さまざまな活動を行っている。

<https://jprs.co.jp/>

#### 【インプレス・サステナブルラボ】

インプレスグループのサステナビリティを推進する研究組織。グループの社会的価値創造、関係資産維持を目的とし、書籍『SDGs 白書』や『インターネット白書』のほか、DX(デジタル・トランスフォーメーション)や SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)分野の取材・発信を通して白書の次世代メディア化に取り組んでいます。

#### 【インプレス R&D】 <https://nextpublishing.jp/>

株式会社インプレス R&D(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:福浦一広)は、デジタルファーストの次世代型電子出版プラットフォーム「NextPublishing」を運営する企業です。また自らも、NextPublishing を使った「インターネット白書」の出版など IT 関連メディア事業を展開しています。

※NextPublishing は、インプレス R&D が開発した電子出版プラットフォーム(またはメソッド)の名称です。電子書籍と印刷書籍の同時制作、プリント・オンデマンド(POD)による品切れ解消などの伝統的出版の課題を解決しています。これにより、伝統的出版では経済的に困難な多品種少部数の出版を可能にし、優秀な個人や組織が持つ多様な知の流通を目指しています。

#### 【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

#### 【お問い合わせ先】

株式会社インプレス R&D NextPublishing センター

TEL 03-6837-4820

電子メール: [np-info@impress.co.jp](mailto:np-info@impress.co.jp)